

学習到達度

学習期間	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月		
CEFR	A1	A2	B2		C1		C2		
JLPT	N5	N4	N2		N1		N1以上		
クラス名	初級Ⅰ	初級Ⅱ	中級Ⅰ	中級Ⅱ	準上級Ⅰ	準上級Ⅱ	上級Ⅰ		
					大学院進学クラス				
					大学進学クラス				
					専門学校進学クラス				
					会話クラス				
					ビジネス日本語クラス				
授業内容	「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」を使用し、日常生活に最低限必要な基本的な語彙・表現を学習し、基礎を固める。テキスト対応の会話DVDを使用し、様々な場面に応じた会話を学習する。ひらがな・カタカナを習得後、漢字を400字程度学習する。主に漢字圏の学生が対象。	「中級から学ぶ日本語」を使用し、各課のテーマに沿って、最近の国際事情も織り交ぜながら学習する。「TRY N2文法」を使用し、N2文法の定着を図る。「漢字マスター N2」を使用し、N2レベルの漢字を250文字程度学習する。	「中級から学ぶ日本語」を使用し、各課のテーマに沿って、最近の国際事情も織り交ぜながら学習する。「TRY N2文法」を使用し、N2文法の定着を図る。「漢字マスター N2」を使用し、N2レベルの漢字を250文字程度学習する。各自選択科目に分かれ、留学試験、日本語能力試験、大学院進学対策、会話力強化、ビジネス日本語等の学習を行う。	「中級から学ぶ日本語」を使用し、各課のテーマに沿って、最近の国際事情も織り交ぜながら学習する。「TRY N2文法」を使用し、N2文法の定着を図る。「漢字マスター N2」を使用し、N2レベルの漢字を250文字程度学習する。各自選択科目に分かれ、留学試験、日本語能力試験、大学院進学対策、会話力強化、ビジネス日本語等の学習を行う。	「上級で学ぶ日本語」を使用し、様々な分野の日本語をテーマ別に学習し、新聞が読める程度の読解力、テレビのドキュメンタリー番組の内容が把握できる程度の聴解力を養い、また、その内容について、議論できる総合的な日本語の実力を身につける。「TRY N1文法」を使用し、N1文法の定着を図る。「漢字マスター N1」を使用し、N1漢字を600字程度、学習する。各自選択科目に分かれ、留学試験、日本語能力試験、大学院進学対策、会話力強化、ビジネス日本語等の学習を行う。	上級修了レベルの学生を対象に、更に上のレベルを目指し、学習する。大学生に必要なとされる一般教養知識について、各テーマ毎に学習する。また、タスクとして、スピーチ・討論・調査報告・レポートの作成・発表などを行い、自ら調べ考えたことを文章・口頭で表現できるように自己表現能力を磨く。会話能力もただ単に日本語で会話ができるということでは満足せず、相手の立場や、状況に合わせて、どのような言葉を使い分けるか、語学の枠に留まらず、広く会話のテクニックを学習する。各自選択科目に分かれ、留学試験、日本語能力試験、大学院進学対策、会話力強化、ビジネス日本語等の学習を行う。			
できること	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人を紹介することができる。どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。			
主に使用する教科書									

「できること」の説明は JF 日本語教育スタンダードを参照して作成いたしました。